Corning Cable Systems

JBO-SRP-80N

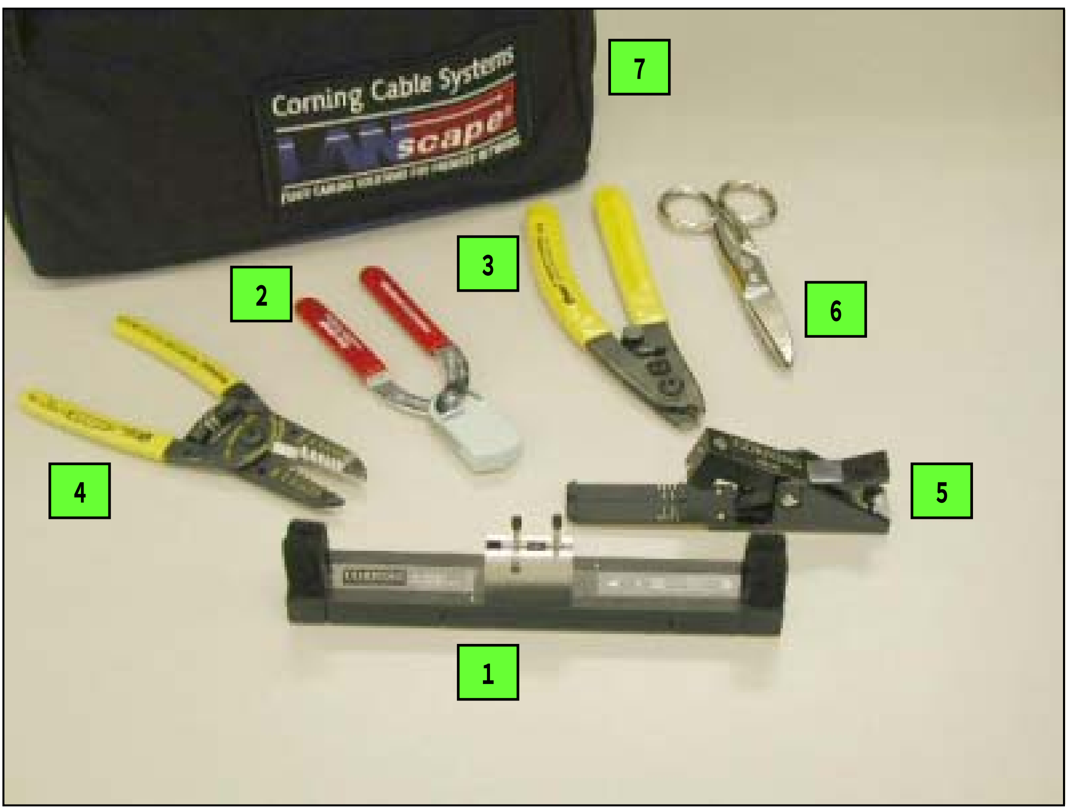
カムスプライス接続工具キット
(TKT-100-02)

取扱説明書

問い合わせ先：
ｺｰﾆﾝｸﾞｹｰﾌﾞﾙｼｽﾃﾑｽﾞｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙｺｰﾌﾟ
営業技術部
東京都港区赤坂1-14-14　興和３５ビル３F
Tel：　03-3586-1005
Fax:　03-3586-1058

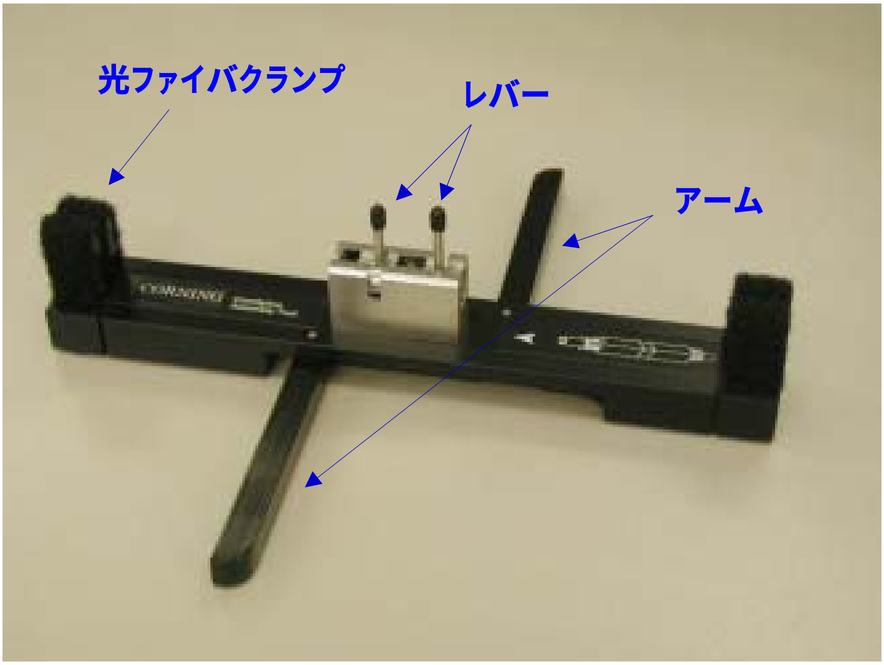
カムスプライス接続工具キット(TKT-100-02)の構成物品

	構成品名	数量	備考
1	カムスプライス専用固定工具	1	
2	ファイバストリッパ(900μm用)	1	
3	ファイバストリッパ(250μm用)	1	
4	ジャケットストリッパー	1	
5	光ファイバカッタ　(標準タイプ)	1	
6	はさみ	1	
7	工具収容専用バック	1	



※　上記の他に、カムスプライス組立付属品が付きます。
(アルコールワイプ、ナンバーリングカード、説明書等)

カムスプライス専用固定工具の各名称



警告事項

安全メガネ
薬品を使用する際、光ファイバをカットする際は、誤って目を傷つけないように、必ず、安全メガネを着用して下さい。
光ファイバの破片は、大変鋭く、簡単に角膜を傷つける恐れがあります。

光ファイバ取扱い上の注意
切断した光ファイバ片は非常に鋭く、容易に皮膚に突き刺さります。衣服に突き刺さったり、後で、怪我をするような場所に切断した光ァイバ片を落とさない様に注意してください。

カムスプライス接続手順

(1) カムスプライス及び専用固定工具の準備

↓

(2) 光ファイバの準備　(その1：　心線の取り出し)

↓

(3) 光ファイバの準備　(その2：　被覆の除去)

↓

(4) 光ファイバの切断

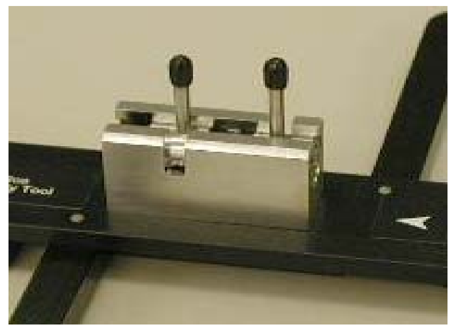
↓

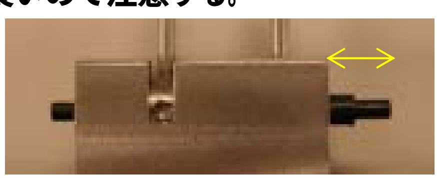
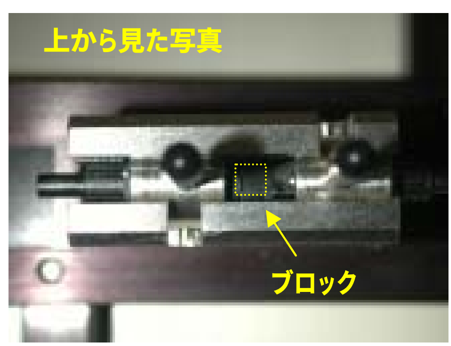
(5) 光ファイバの挿入及びカムの回転

↓

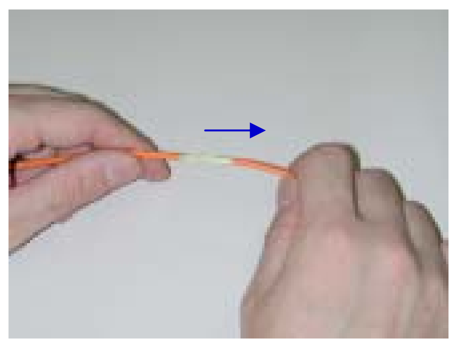
(6) カムスプライスの取り出し及び再接続の方法

(1) カムスプライス及び専用固定工具の準備

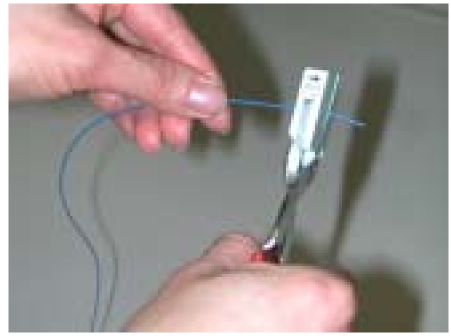
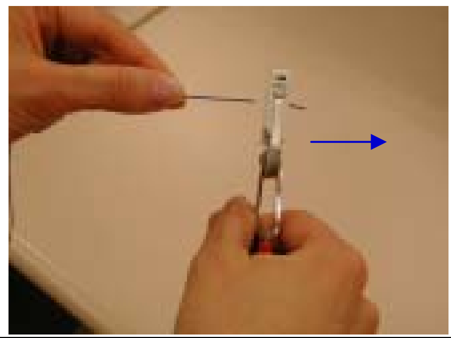
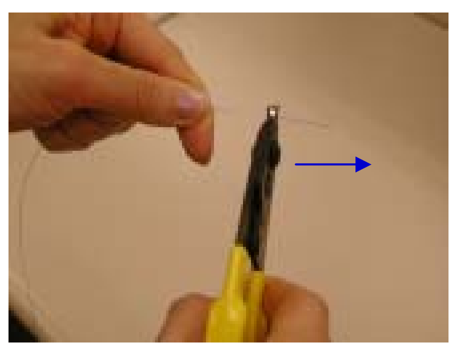
<table>
<tr>
<td>CORNINGラベルを左側にし、工具下のアームを広げる。(作業スペースにより、広げる大きさを調整出来る。)</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>両レバーを垂直にする。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>カムスプライスのOPEN文字を上にし、両端のダストキャップが付いたまま、専用固定工具の本体中央部へ右側から挿入し、セットする。
ダストキャップは光ファイバを挿入する直前に外す。

</td>
<td>
</td>
</tr>
<tr>
<td>カムスプライス中央の正方形ブロック部分が両レバー間の中央にある事を確認する。
※　カムスプライスの突出し部分は左右対称ではなく、右側の方が長いので注意する。
</td>
<td>
</td>
</tr>
</table>

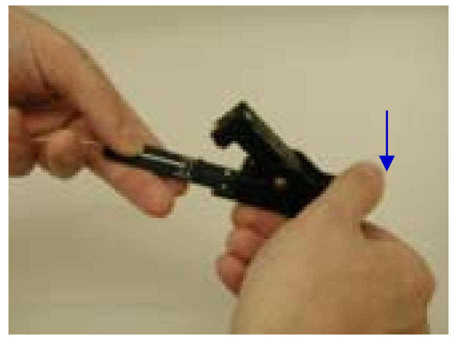
（2） 光ファイバの準備 （その1：心線の取り出し）

ジャケットストリッパーの使用方法。 （光コードを使用する場合。）	
光コード外被の切断箇所をジャケットストリッパで挟み、光コード外被の外周をカットする。 （光コード外径により、使用する刃の穴径を選択する。コード外径よりも一回り小さい穴。）	
光コード外被を引張り除去する。	
必要な長さで抗張力繊維（ケブラー）をはさみで切断する。	

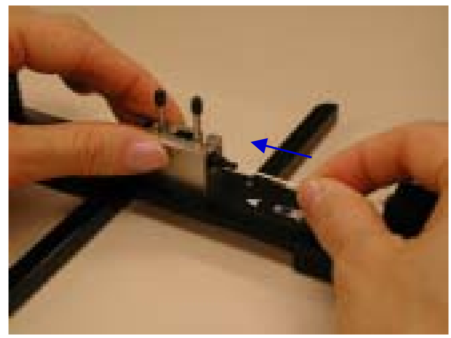
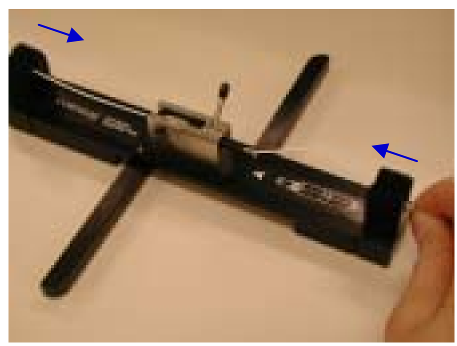
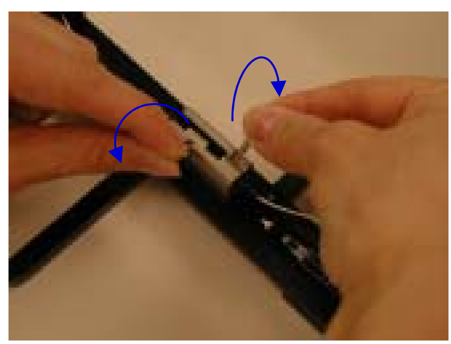
(3) 光ファイバの準備 (その2:被複の除去)

900μm光ファイバの場合: 900μm用ファイバストリッパーの矢印マークを上にして、光ファイバを約10mm−15mm突き出した位置で挟み、光ファイバ被複の外周に刃入れる。	
900μm用ファイバストリッパを挟んだ状態で水平に移動し、被覆を除去する。 約40mmの被覆を約10mm−15mmづつ、3回−4回に分けて除去する。	
250μm光ファイバの場合: 250μm用ファイバストリッパーで、光ファイバを約40mm突き出た位置で挟む。	
250μm用ファイバストリッパをやや斜めにして、水平方向に移動し、約40mmの被覆を1回で除去する。	

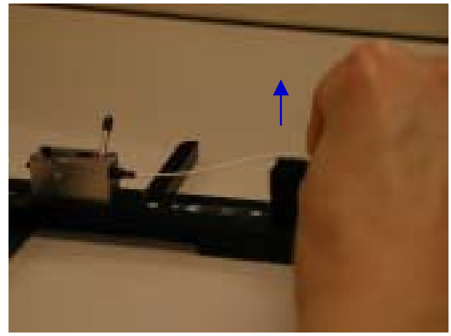
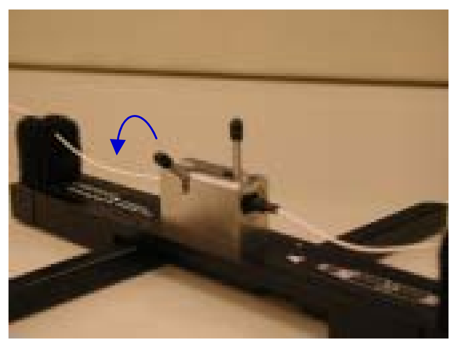
（4） 光ファイバの切断

被覆を除去したファイバ表面をアルコールを湿したコットンでファイバ先端方向に5回－6回清掃する。	
光ファイバカッターのファイバ固定部を広げ、清掃後の光ファイバを溝に置き、被複端部を14mmの位置に合わせ固定する。（本体後方部分を押す事でファイバ固定部は開閉する。）	
光ファイバを直線にした状態で、本体前部を押し、光ファイバ表面にカットの起点となる傷を与える。	
光ファイバカッターの中央部分を曲げて、光ファイバをカットする。カットした光ファイバは先端を傷つけない様に取り出す。	

(5)　光ファイバの挿入及びカムの回転

光ファイバを接続工具の光ファイバクランプへ 挟む。もし、250μmと900μmの光ファイバが 混在するときは、最初に250μm光ファイバを 先に挟む。	
光ファイバの被覆部分を持ち、光ファイバをカム スプライスの突き当たる位置まで挿入する。 他方の光ファイバを同様にカムスプライスの中へ 挿入し、最初の光ファイバに突き当たる位置（動く 位置）まで 挿入する。	
左右の光ファイバを片側づつ、光ファイバクランプの 後方から押し込み、光ファイバにたるみを作る。 （最初の光ファイバを他方の光ファイバの方へ押して、 左右の光ファイバのたるみが10～13mmになるよう にする。）	
両レバーをお互い反対方向へ９０°回転させる。 この回転により、光ファイバ突合せ部分は固定 される。	

(6) カムスプライスの取り出し及び再接続の方法

光ファイバクランプから左右の光ファイバを外す。 (クランプ後方の光ファイバ部分を持ち上げる。)	
カムスプライスの両端をつかんで上に持ち上げ、 本体中央部からカムスプライス取り出す。	
もし、接続損失が十分でない場合は、次の事を 実施して下さい。 レバーを垂直に戻し、カムスプライスを開放する。 左のレバーのみを45°倒し光ファイバを仮固定 する。	
右側の光ファイバを引いて、左右どちらかの方向に 少し回転する。次に左側の光ファイバが右側の光 ファイバへ接するまで再度挿入した後、再度レバー を倒して下さい。 それでも損失が大きい場合、光ファイバのカットをや りなおし、再接続する。	